

密閉配管セット 108 (屋内用)



標準価格：¥15,000

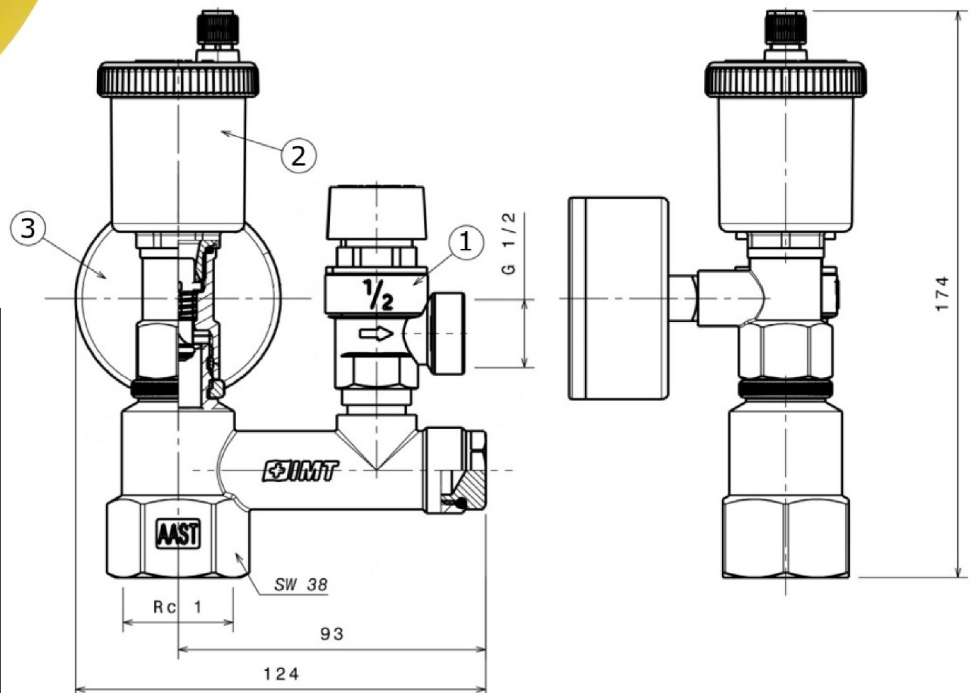
安全弁設定：0.125Mpa

最高使用温度：110℃ (蒸気使用不可)

構成：①安全弁

：②自動エア抜き弁

：③圧力計



・安全弁についての注意・

矢印方向に少し回すと弁が開きます。カチッと音がするまで(45°程度)回すのは回し過ぎです。回し過ぎにご注意下さい。バネが伸びて安全弁設定圧力が低下します。

用途

「密閉配管セット 108」は、暖房密閉回路からエアを発散し、余分な圧力からシステムを保護する為に使用されます。最高使用温度は、110℃です。蒸気には、使用できません。

設置方法

「密閉配管セット 108」は、ボイラーに直接供給されるラインやボイラーの近くに設置します。

垂直方向や独立した弁やそのような配管には、設置してはいけません。

接続口径は、1" (25A) のメスねじです。

ダイヤフラム安全弁は、次の規格に従っています。DIN4751 Part 4 及び DIN1986。

「密閉配管セット 108」の本体を取付けた後に、カバーを取付けます。

その後、エアVENTキャップを全閉位置から反時計回りに一回転させて開きます。システムは、自動的にエア抜きされます。

安全弁は、ノブを使って操作できます。

矢印方向に少し回すと弁が開き、離すと自動的に閉まる必要があります。**カチッと音がするまで(45°程度)回すのは回し過ぎです。バネが伸びて安全弁設定圧力が低下します。**

これらの操作で、弁などが正しく作用するかチェック出来ます。

エアVENTは、自動的に働きます。もし、システムにエアが存在するのならば、エアVENTは最も高い位置に設置されなければなりません。フロート室の中に空気が貯まると、フロート室の水位が下がり、フロートも下がって排気弁が開きます。

これは、エアがVENTキャップを通過して逃すことを可能にします。エアが逃されると水位が上昇し、フロートも上昇して排気弁を閉じます。もし、エアVENTのキャップを完全に閉じているならば、エアVENTは働きません。

圧力計は、密閉配管セットの正面に付いています。

メンテナンス

まず、どんなメンテナンスを始める前でも、カバーを取り外します。

エアVENTは、定期的に点検する必要があります。

そのために、作業がしやすい場所に設置する必要があります。

安全弁の漏れの場合、シートのクリーニングやシール部分の取り外しが可能です。安全弁が開く圧力は、不変でなければなりません。もし、それでも漏れが止まらなければ、安全弁を交換する事により、適切に作動するでしょう。

個々の安全弁は、専門業者によって少なくとも1年に1回は、点検されるべきです。

真鍮

IMTは、最新のヨーロッパ基準 DIN12164 と 12165 に従った真鍮だけを使用しています。

利点

真鍮製

高い能力

実用的なカバー

絶縁テスト 100%クリアー サンプルングによる付加的試験(AQL)

100%ヨーロッパ製

デザイン

密閉配管セットの構成

安全弁(TUV 認可)

自動エアVENT

圧力計

カバー

注意：屋外や紫外線の影響を強く受ける場所に設置する場合は、紫外線対策を施してください。樹脂製の部分が、早い時期に劣化や破損する可能性があります。